

日商協、堀口巨新会長に聞く

先物協会と協力、緊張保つ 三位一体で自主規制の実

日商協(日本商品先物取引協会)の第二代会長に堀口巨・一橋大学名誉教授が六月十六日、就任した。酒巻前会長に続き、二代続けて法律畑からの登板である。今後、日商協はどのような方向を目指すのか、舵取り役となった堀口新会長に聞いた。



日商協会長 堀口 巨氏

問題が山積

新会長になって、一カ月半。どのような感想をお持ちですか。

堀口 これまで外でいろいろ見てきたが、中に入ると問題が山積している。それを、よくこの少人数でこなしていると感じた。

業界の直面している問題は、

堀口 「国際水準の取引所」を目指し、一九九八年の法改正が行われたが、まだ、現状はそれにはほど遠い。二〇〇五年に手数料が自由化されることになり、既に試験上場が円滑に行われ、取次ぎ制度なども認められるようになった。だが、紛議はあるし、委託者、委託証拠金は横ばいで、増えている。公正な価格形成、ヘッジという先物取引の本来の機能を十分発揮できる状態にはない気がする。それを果たすには参加者の九割が個人投資家という状況を改める必要があるのではないかと。また、商社が強すぎ、

注文を国内にはなく海外に持っていくのも問題だ。また、先物協会が設けた信頼性向上特別委員会にも日商協から常勤役員の一入を委員として参加させている。日商協と先物協会は車の両輪である。もたれあい

監査制度を充実

新会長として日商協を今後、どのように運営していくお考えですか。

堀口 協会が設立されて三年。ステップ・バイ・ステップで着実に進んでいる。監査委員の養成も行われ、平成十三年度に監査制度を立ち上げた。営業姿勢を中心に五社を監査し、十社を全面監査した。これからは財務監査が問題だ。また、自主規制機能を確立し、ルールを守るため商品取引員が自主的に受託業務で、法令遵守を行うよう指導していきたい。

商品先物取引は潜在的にトラブルを起こしやすい。そこで、講習会などを通じて、「当たり前」のことに守る。よう、外務員の資質向上にも力を入れたい。このため、平成十四年度は外務員や管理担当総括者など中間管理職を対象にコンプライアンス(法令遵守)の研修会を行っていく。

参加出来る 環境を整備

先物協会とは今後、どのように協力していくか。

の関係ではなく、協力と牽制などよい意味での緊張関係を持つていきたい。これにより、委託者が安心して取引に参加できる環境をつくるよう一緒に取り組んでいきたいと考えている。

堀口 これまでも先物協会とは登録外務員の移動問題などで互いに協力してきた。また、先物協会が設けた信頼性向上特別委員会にも日商協から常勤役員の一入を委員として参加させている。日商協と先物協会は車の両輪である。もたれあいが実が上がる

常設委員会委員長

先物協会は7月の理事会で3常務委員会の委員長を決めた。坂井康明フジフューチャーズ社長が広報委員長を辞任し、白井氏が新しく就任した。総務委、制度政策委はいずれも留任。

- 総務委員会委員長 中島 秀男(第一商品(株)代表取締役副会長)
制度政策委員会委員長 清水 清(カネツ商事(株)代表取締役会長)
広報委員会委員長 白井 憲治(エース交易(株)代表取締役社長)

畜産基地の特色生かす

福岡大豆ミール上場パーティー

福岡商品取引所は七月一日、福岡市中央区のホテルニューオータニ博多、四階鶴の間で「大豆ミール上場記念パーティー」を開催した。大豆ミールの試験上場は昨年十月の東京穀物商品取引所に次ぐもの。九州は畜産基地だけに関心が高く、およそ百八十人が出席し、会場は華やいだ。

記念パーティーの冒頭で中村光弘福岡商取引所理事長が、「大豆ミール上場は今、大豆ミールを市場で、関係業界に貢献できると信じている。畜産農家をはじめ関係業界が利用しやすいよう市場設計を配慮した」とあいさつした。

続いて、西藤久三農林水産省総合食料局長の祝辞を高柳充宏商品取引所監理官が代読した。「福岡で大豆ミールの取引が始まった。当業者はリスクヘッジの場が提供され、一般投

資家にも新たな資産運用の場が提供されることになった。福岡商取引所の役割は極めて大きく、いっそうの信頼確立に取り組んでほしい。また、森實孝郎(社)全国商品取引所連合会会長が、「地域経済に着目、投機資金の性格も頭に入れた大豆ミールの商品設計はまことに有意義だ。昨秋に先行上場した東穀取も、場合によっては福岡商取引の商品設計を参考にすることを考えねばと思っている。ぜひ、うまく育てあげてほしい」と祝いの言葉を贈った。

大豆ミール取引開始式



7月1日の取引開始式

日経新聞朝刊に注目! 毎週木曜の国際面に掲載

Advertisement for JCFIA featuring 10 expert panels. Each panel includes an expert's name, a quote, and contact information for JCFIA. The panels cover topics like market trends, risk management, and international trade.